

グループホーム 愛の里白寿荘

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		・当施設の特徴を活かした、事業所独自の理念を作っています。「ここに来て良かったね、ここに来たら元気になったね」と言って頂けることを目標にしています。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		・理念について、職員・ご家族・ご利用者の皆様と機会あるごとに話し合いながら理念の実践に向けて取り組んでいます。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		・併設施設との交流を通じ、季節感を感じながら日々活動的に生活出来るようにご家族の方と、話し合いながら行っています。 ・今後、当施設なりに地域密着型サービスとしての役割が果たしていけるような事業計画を来年度に向けて、検討している。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		・買い物や美容院等の外出の際、少しずつ気軽に声を掛けてもらえるようになって来ました。 ・今後、当グループホームなりに地域密着型サービスとしての役割が果たしていけるような事業計画を来年度に向けて、検討している。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		・地区の草刈り等に参加している。民生委員さんや併設施設に通っている近所のご利用者さんとの交流を図ることで、ご利用者が孤立することのないよう努めています。 ・今後、当グループホームなりに地域密着型サービスとしての役割が果たしていけるような事業計画を来年度に向けて、検討している。

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域の外出の機会の少ない高齢者が、活動のきっかけになる場所作りが出来るよう、併設施設と協力して活動の場を広げて行けるよう取り組んでいます。		・今後、当グループホームなりに地域密着型サービスとしての役割が果たしていけるような事業計画を来年度に向けて、検討している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価・外部評価を見直し、意義を理解する為に、職員研修や内部研修で話し合いサービスの改善に向けて手法を変えて取り組んでいます。		・外部評価を受けて、さらにサービスの向上が実現する為に情報の共有の大切さを話し合っています。まだまだ不十分だとは思いますが記録の書式も独自で改善しながら取り組んでいます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・毎回アルバムやホームだよりを作成して、活動をご家族や関係者に報告しています。現状報告を行いアドバイス頂いたご意見を参考にサービスの向上に努めています。		・今後、会議だけではなく、活動を通じてご利用者の方の状態や当グループホームの取り組みをご理解頂けるような運営推進会議を予定しています。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・市担当者に頻繁に訪問・電話で相談しています。保護担当者の方も定期的に訪問して頂いており、現状報告や相談しながら、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・入居時や必要時に制度についての説明を行っています。具体的な活用についての事例は現在のところありません。		・制度についての理解を深め、適切な対応が出来るように勉強していきたいと思っています。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	・虐待が行われることのないよう又、見過ごされることのないよう連携を図っています。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約時は何度か訪問して頂き、説明には時間をかけて行っています。質問をしやすいように心がけて、お話しをさせて頂いています。先々のことも踏まえてご協力とご理解が得られるよう努めています。</p>		<p>・当グループホーム独自に説明資料を作成して、わかりやすい説明を心掛けています。さらに資料の内容を充実させて十分な説明が出来るよう改善していきたく思います。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・管理者や職員、併設施設の職員も協力して、ご利用者の方の意見を聴くよう努めています。意見があれば職員・ご利用者と一緒に話し合い解決していくようにしています。又、必要であればご家族も交えた話し合いも行っています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・月に一度、ホームだよりをご家族にお渡ししています。健康状態や現状報告はお支払日やご面会時に随時、報告しています。利用料の領収証は毎月発行しています。お小遣いにつきまちは、個別の金銭出納帳に記入して毎月、残高をお知らせしています。残高につきましては訪問時に出納帳に確認印を頂いています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・面会の際やお支払いに来られた際に、現状報告を行うようにしています。意見等を言いやすい雰囲気作り、関係作りにも努めています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・職員会議の他にも、細かな報告や相談を受ける機会を多く持つように努めている。意見や提案は、皆で話し合い情報を共有し速やかに反映出来るように努めています。</p>		<p>・定期的な合同ミーティングを今後も継続して、意思疎通を図っていきたくと考えています。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・利用者の状況や活動に応じて、職員配置を行っている。併設施設、併設ユニットの協力で職員間の柔軟な対応が実現している。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・馴染みの職員を中心に、職員間の情報の共有・状況に合わせた勤務調整が出来るように努めています。兼務職員も日頃より関わりを多く持つことで馴染みの職員と変わりなく、勤務が出来るよう連携を図っています。</p>		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>・職員の採用にあたっては、人柄を重視して年齢や性別資格等で採用の対象から排除しないように努めています。又、職員が得意分野で力を発揮し、やりがいを持って仕事が出来よう努めています。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>・個人の人権を尊重することに対しては、度々話し合いを設けるようにしています。慣れっこになりご利用者の方々の対応が粗末なものにならないようお互いに注意し合っています。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・経験に応じた、研修が受けられるよう支援している。法人内の研修においても自己啓発出来るよう、働きかけています。</p>		<p>・さらに自己啓発に繋がるような、内部研修や勉強する機会を設けて、モチベーションが向上していくよう取り組んでいきたいと思います。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・外部研修や勉強会・交流会の参加を通じ、同業者の方との交流を図り、意欲の向上・仕事に対する安心感が保てるように努めています。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・年に2回、泊まりにて、職員研修を行っている。その為にご家族等にご協力を頂き、意義を理解して頂いている。そのおかげで、職員間の連携、信頼関係が築けていけると実感しています。</p>		<p>・今後も、ご家族等にご協力頂き、継続していきたいと考えています。</p>

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・職員の個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ご利用者とお話しをする機会を多く作るように努めています。言葉だけでなく、表情や活動からお気持ち察知出来るよう心掛けています。		・入院されている場合は、入院先に訪問して状態の把握を行いご利用者の不安を少しでも軽減出来るように努めています。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・数回に渡り、面接を行いご利用者の状況ご家族の希望が把握出来るよう努めています。施設の方針や出来ること、出来ないことの内容を説明して判断して頂けるようにしています。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・状況を出来るだけ正確に把握出来るよう努力しています。広い視野でサービスの説明又、在宅生活の継続の可能性について話すようにしています。各施設の特色、当施設の特色・方針を理解して頂けるように努めています。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・面接は時間をかけて行い、安心して入居して頂けるように努めています。状態に応じて、体験入居をご利用して頂き雰囲気慣れて頂くようにしています。入居の方が納得して入居して頂くことを前提に考えています。		・入居される方が、当施設に入居することが望ましいかも踏まえて慎重に面接を行い状態把握、説明を行っています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・日々の状況に応じて声掛けを行うように心がけています。昔を思い出して得意だったことを聞きだし共に楽しめるように接しています。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・援助方針はご家族と話し合い、現状を理解して頂けるように心がけてお互いの気持ちが理解し合えるように取り組んでいます。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・職員だけでは解決出来ないこともご家族と話し合い、協力し合って支えて行きたいと考えています。		・グループホームでの様子や健康状態をご家族等にお伝えして、ご理解・ご協力が得られるように努めています。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・可能な限り、今まで馴染みだった方にグループホームに足を運んで頂いたり、関係が途切れないように支援しています。ご利用者の要望はご家族の方にも伝えて協力を頂いています。		・今後も、訪問者やご家族の方にご協力頂き、馴染みの方との関係が継続していけるよう支援していききたいと思います。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・自由に過ごせる雰囲気を作り、状態や性格・お気持ちを配慮して孤独感や不安感がないよう職員が関るように努めています。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退居後、ご自宅から併設のデイサービスに通い、在宅生活を実現されている方もいらっしゃいます。ご家族から現状報告もあり協力して在宅生活が実現しています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・希望や意向について把握出来るように日頃の会話を心がけています。困難な方は良い表情が引き出せることを情報を共有して取り組んでいます。		・今後も、暮らしのなかで活動の場を広げて、ご利用者の方の希望や意向が把握しやすい環境を作っていきたいと思えます。

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時以外も今までの生活等を聞きだすようにしています。ご家族からも本人さんの好きなことや今までの暮らしぶりを教えて頂けるようにしています。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・一日の状態や体調については申し送りの際、伝えて全員で総合的に把握出来るように配慮しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ご利用者・ご家族・職員の意見を反映して介護計画を作成しています。		・介護計画が理想だけにならないよう、生活に通じた課題を上げ解決していきたいと思います。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・定期的にモニタリングを行い、状態の変化を見逃さないように取り組んでいます。		・話し合いや検討は細かく行うようにしていますが、記録が追いついていないのが現状です。、必要な事項をわかりやすく記録に残せるよう工夫し改善していきたいと考えています。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個別記録や申し送りにて情報を共有して、介護の工夫・改善に努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・併設施設とは行事や日々の介護で連携を図ることで状態を把握してもらえるように努めています。各専門職員に頻繁に相談・援助が行われています。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・民生委員さんが協力的に訪問して頂き、相談にのって頂いています。保育所の子供たちとの交流は入居者の皆さんも大変喜ばれています。		・今後、当施設なりに地域密着型サービスとしての役割が果たしていけるような事業計画を来年度に向けて、検討している。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・居宅支援事業所のケアマネジャー・訪問看護師を通じ、他サービスの情報提供等相談・話し合いを行っています。		・今後も、併設施設に来られている地域のケアマネジャーやサービス事業者との交流を深めて学んでいきたいと思っています。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・居宅支援事業所を通じ、地域包括支援センターより、情報の提供・相談を行っています。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご家族の希望により、かかりつけの医療機関に通院している。診察後の状態の報告を行い、通院の協力がある家族からは、報告を受けて状態の把握を行っています。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・認知症の専門医やソーシャルワーカーの方と密に連絡を取り、気軽に相談にのって頂いています。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・医療連携で契約している訪問看護師と併設の看護師に日常の健康管理や状態の変化の際の相談を行っています。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・医療機関と情報を交換して、適切な医療が受けられるよう支援しています。入院設備がある病院のソーシャルワーカーに相談して、入院の際の援助を受けています。又、入院についてのあらかじめの相談も日頃より行っています。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・医療が必要になった際の対応や、重度化した際の援助について、入居時やその後にご家族、主治医・ソーシャルワーカー等と話し合いを行っています。</p>		<p>・入居時に応じて、重度化した場合や週末期について、看取りに関する対応指針説明をご家族に行い、同意書に署名・捺印を頂いています。</p>
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・事業所の「できること・できないこと」については入居時・入居後にご家族と話しをしています。ご家族やご利用者の要望も踏まえて、状況に応じた対応が出来るよう準備しています。</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・自宅やグループホームから別の場所に移り住む際、グループホームでの様子や状態を報告して住み替えるダメージが極力軽減できるように支援しています。</p>		<p>・入院の際は、グループホームでの様子を細かく申し送りし、適切な援助が受けられるよう努めています。</p>
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・個人情報の取り扱いについては、入社時や職員会議により注意を促しています。ご利用者の尊厳を大切にする対応を職員一同心がけています。</p>		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・希望や意思の確認を聞きだすことを心掛け、ご自分の意思を選択して頂ける機会を作り、対応していけるよう努めています。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ご利用者の状態や雰囲気、希望に合わせて、その日どのように過ごすか決めるようにしています。		・共同生活において、時には希望にそえない事項もあります。その際は、ご利用やご家族と話し合いを行い理解して頂けるよう努めています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・着たい服の選択やヘアスタイル・お化粧品等希望にそったおしゃれを楽しめるよう支援しています。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・お箸を準備したり、テーブルを拭いたり状態に応じて出来る範囲協力して行っています。好みや食べたいものを尋ねメニューに取り入れるようにしています。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・ご家族とも相談して希望のある方は、好みのものを購入しています。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄リズムの把握を行い、おむつの使用が減るように努力しています。又、羞恥心に配慮して上手に紙パンツを利用することで、活動的に生活出来るよう支援しています。		・紙パンツの適切な利用により、他者との交流が活発になった事例がありました。今後もお一人おひとりにあった排泄を工夫していきたいと思えます。

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・体調や希望・状態に応じて、出来る範囲対応しています。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・睡眠パターンを把握するように心がけています。睡眠の状況を継続的に情報交換して日常生活の見直し等気持ち良く眠れるよう支援しています。		・眠れないご利用者には、不安感が軽減出来るように配慮しています。不眠の軽減について追及し活動を促すなど、改善に努めています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・畑の収穫や草取り、編み物等その日の雰囲気により活動を促し、興味を引き出すよう努めています。日常の掃除や洗濯物の片づけを楽しみながら行いながら、より良い人間関係が保てるよう支援しています。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お小遣いは、管理していますが自分で家族に電話されるご利用者は両替をして自由に使えるようにしています。外出時は希望や力に応じて買い物を楽しめるように支援しています。ご家族の理解も得られるよう、ご説明させて頂いています。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・状態や希望に応じて、併設のデイサービスを利用したり、天候の良い日は屋外で過ごしたり、テラスで昼食会を行う等の機会を作っています。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・花を見学に行ったり、ご利用者の故郷の物産館に行ったり状態に応じて、外出の機会を作っています。ご家族とお参りや自宅に帰れるよう、支援しています。ご家族との外出を目標に状態が維持できるよう、日常生活で頑張っておられる方もいます。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご自分で電話がかけられる方は、10円玉を両替しケースに入れています。状態にもよりますが、ご自分でかけられない方は希望にそって電話をかけて支援しています。		・定期的に渡すアルバムに字が書ける方は一言、ご家族へメッセージが書けるよう支援しています。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・いつでも気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるよう努めています。		・状態に応じ、動揺や援助に配慮して頂けるよう、訪問者の方にご協力頂いています。
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束をしないケアを職員一同徹底しています。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・安全な環境を整備して、日中は玄関・居室に鍵をかけずにケアに取り組んでいます。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・ご利用者の所在や様子を職員一同で把握して、安全に配慮している。ご利用者のお気持ち・プライバシーに配慮しています。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・お一人おひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みを行っています。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・事故防止に備え、環境整備や見守りを行っている。ご利用者ごとの考えられる事故を予測して防止に努めるようにしています。ガスの元栓や電気等の管理表を作成してチェックを行っています。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・救命講習を受講し受けたものが全職員へ伝達を行い、訓練を行っています。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・民生委員さん及び近隣の方への協力をお願いしています。		・管理者・職員・併設施設の職員と・緊急時の避難方法や、協力について話しをしています。今後さまざまな状況を踏まえて対策を考えていきたいと思ひます。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・起こりうるリスクについてのご家族への説明、話し合いについては入居の際の面接時を始め、機会あるごとに行い、抑圧感のない暮らしを目指しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日のバイタルチェックや入浴時等、状態の変化の情報は、職員間で情報を共有し異変を見逃さないよう努め早急な対応を心掛けています。医療連携の看護師や併設の看護師にも普段の様子や気になること等、細かく報告して、状況を把握して頂いています。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬につきましては、お薬管理表を作成して、役立てています。お薬の飲み忘れがないように、ご利用者毎に箱に仕分けして注意して取り扱っています。お薬が変更になった際は、記録を更新して職員全員で情報を共有しています。		・体調がいつもと違う時や、新しい服薬等についてはかかりつけ医や看護師に相談しています。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・排泄リズムの把握を行い、排泄の状態に注意している。予防と対策に飲食や身体を動かすよう注意しています。看護師や主治医に相談して不快を軽減し状態悪化を予防するよう努めています。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・食後は歯磨きを促しています。状態に合わせて口腔ケアを行っています。		・歯の治療にリスクのあるご利用者もおられます。治療については、主治医やご家族と相談のもと、行っています。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・水分摂取量や食べる量は、職員間で申し送りにて情報の共有を行い、食べれる工夫を皆で検討合っています。摂取量の変化により、状態の変化の早期発見に努めています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・感染症マニュアルを作成して、汚物の取り扱いや感染症の予防等に取り組んでいます。インフルエンザの予防接種もご利用者・職員とも行っています。		・今後も感染症に対する知識を深め、予防に努めていきたいと思えます。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・調理器具は熱湯消毒や漂白剤等にて衛生管理を行っています。包丁・まな板は肉用・野菜用に分けています。清潔を保つ為に清掃にも配慮しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・畑作りや木々を植えることで、活動的で親しみやすい環境作りに取り組んでいます。出入りにつきましては事務所や併設施設との協力も得て安全が保てるように努めています。		・地域柄もあり、ご家族や友人以外の近隣の方々の出入りは限られていますが、今後さまざまな活動を通じ少しずつ交流が増えていくように取り組んでいきます。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・光や音の調整は、ご利用者が過ごしやすいように配慮しています。季節の花を飾ったり季節感を取り入れる雰囲気作りを行っています。訪れる方にも季節感と癒しを感じて頂けたらと頑張っています。		

グループホーム 愛の里白寿荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・居室に入室する際はロックや声掛けを行い、おひとりの時間を邪魔しないよう配慮しています。居間以外にも中庭の見える場所で談話出来るスペースも設けています。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室は、ご利用者、ご家族と相談して各自好みや状態に合わせて設置しています。		・状態の変化や使い勝手の不都合があった場合は、ご家族・ご利用者と話し合い模様替えを行っています。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・換気は毎日行っています。温度調整は外気温と大きな差がないように配慮しています。各自の居室の温度についても温度にはこまめに注意しています。		・ご利用者に確認しながら、温度計・湿度計を目安にしています。冬場は加湿器を使用しています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・トイレは各居室の隣に設置して、出来るだけ自立して安全に排泄が行われるよう支援しています。ご利用者の行動範囲を踏まえ、安全な環境作りに努めています。		・居室は状態に応じ、少しでも自立した生活が実現するように、ご利用者・ご家族・職員でその都度話し合い改善していきたくと考えています。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・お一人おひとりの状態に応じ、戸惑いや不安感がないよう支援しています。又、他のご利用者の方にも協力・理解して頂けるよう話し合う機会を設けています。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・畑を作り、散歩のきっかけに利用している。併設の園児の姿を眺めるのを楽しんでいる方もいるため、中庭が見えやすい場所にソファを置き交流の場となっています。		・職員で、木を使った手すり階段を作り、外へ出やすくしています。玄関には石で足つぼコーナーを作っています。今後も楽しみながら暮らしていけるよう工夫して手作りしていきたいと思えます。

グループホーム 愛の里白寿荘

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 愛の里白寿荘

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように
		数日に1回程度
		たまに
		ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・入居者の皆様とそこご家族が「ここに来てよかった」と思って頂けるグループホームを目指しています。アピール出来る点は、生活の中で季節感や自然を感じながら楽しく過ごせる環境作りに取り組んでいること、日常生活の中でかわいい園児たちとふれあえることです。又、職員のやさしさ・思いやり・やる気・チームワークもアピール出来ることのひとつです。まだまだ発展途上ですが、併施設と連携を図り、学び合いながら、日々頑張っています。今後もさらに、専門性と知識の向上に力を入れて、ご利用者の方とそこご家族、そして職員も生きがいを持ち、安心して過ごせる場所でありたいと考えています。